

# 北海道浮魚ニュース

平成 27(2015)年度 14 号

2015 年 8 月 28 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## ◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・分布密度は前年より低い。
- ・魚体サイズは前年並み。

- ・調査期間 : 2015 年 8 月 20~26 日
- ・調査海域 : 道東太平洋沿岸
- ・調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場)
- ・調査方法 : イカ釣機 5 台を用いた約 3 時間半の夜間操業

### 1. スルメイカの分布密度

スルメイカは道東太平洋の 10 調査点すべてで漁獲されました(図 1)。各調査点のスルメイカの分布密度(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)は 0.2~13.2 で、釧路沖の St.5 が 13.2 と最も高く、次いで十勝川沖の St.4、花咲沖の St.10 が 10.8、10.0 でした。全調査点の平均分布密度は 5.04 で、前年(20.92)および 2000 年以降の平均値(9.19)を共に下回りました(図 2、表 1)。

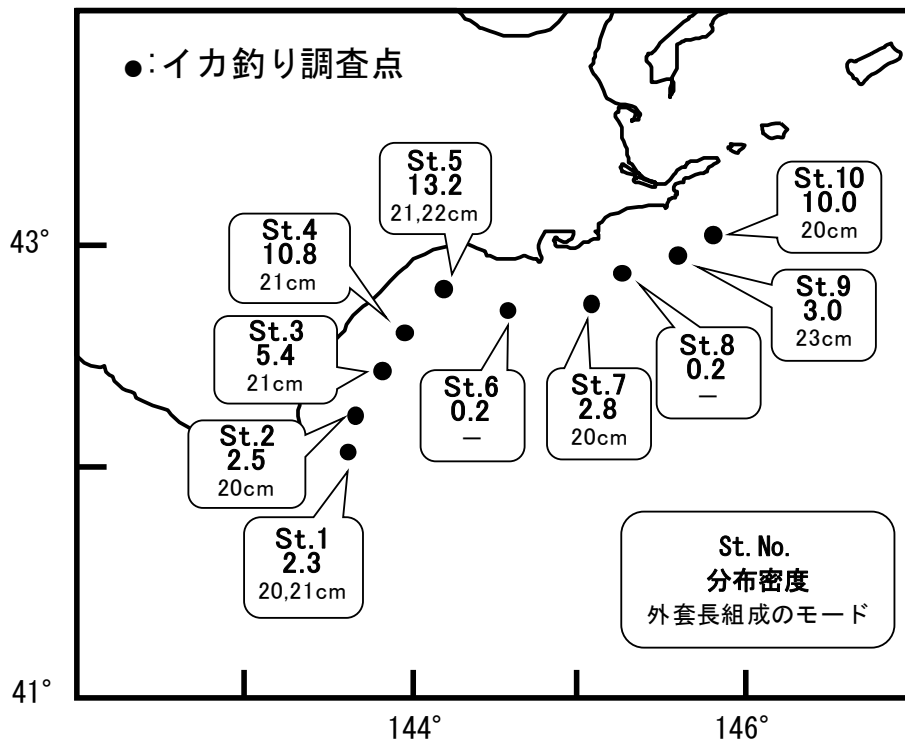


図 1 2015 年 8 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と外套長組成のモード

※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。  
※モードとは最も多く漁獲されたイカの大きさ。

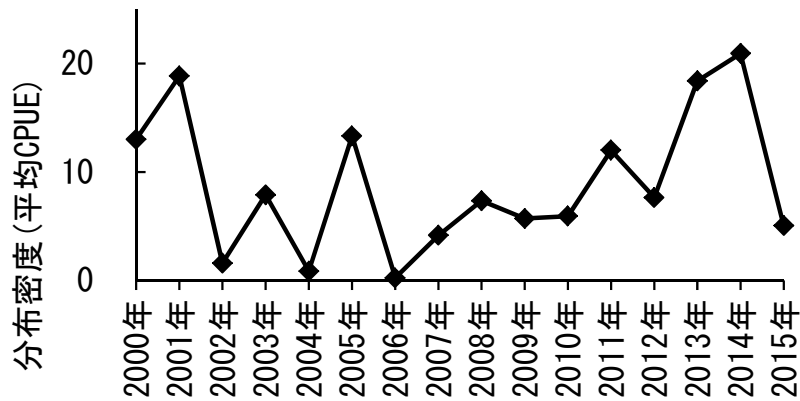


図2 8月の道東太平洋におけるスルメイカの平均分布密度

### 2. スルメイカの大きさ

全調査点での外套長(胴長)の組成のモードは21cmで、前年(21cm)と同じでした(図3, 表1)。各調査点の外套長組成のモードは、20~23cmに見られました(図1)。

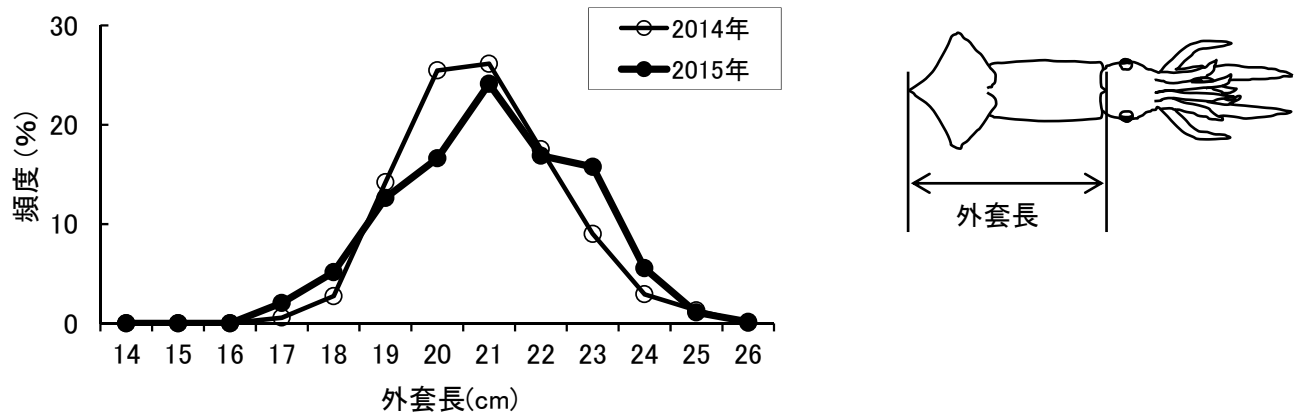


図3 8月に道東太平洋で漁獲されたスルメイカの外套長組成

### 3. 表面水温

道東太平洋10調査点の表面水温は14.1~19.4で平均17.0℃(前年:15.1~18.5℃, 平均17.3℃)でした。

表1 2009~2015年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2007年 8/21~28	607	4.16	16-25	20	8
2008年 8/25~29	1,197	7.35	13-23	19	8
2009年 8/18~23	418	5.70	15-24	20	10
2010年 8/17~26	1,212	5.93	16-23	19	10
2011年 8/16~25	2,190	12.00	14-26	21	10
2012年 8/20~28	996	7.64	16-25	20	10
2013年 8/20~28	2,672	18.39	18-28	21	10
2014年 8/21~26	2,607	20.92	17-26	21	10
2015年 8/20~26	804	5.04	17-26	21	10

注)オホーツク海・根室海峡のデータは除いて、道東太平洋のデータのみ示した。

○本調査結果と他の研究機関の調査結果をもとにして、第2次スルメイカ漁況予報が9月下旬に発表されます。

(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)